

令和 5年度予算見積調書

課室名: 生涯学習推進課、義務教育指導課
 担当名: 地域連携担当、学力向上推進・学
 内線: 6979 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P58	放課後子供教室推進事業			一般会計	教育費	社会教育費	社会教育振興費	青少年教育振興費		
事業期間	平成19年度～	根拠法令	社会教育法第5条及び第6条		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4	
					分野施策	0506	家庭・地域の教育力の向上	SDGsターゲット	4-1	
1 事業概要 子供を取り巻く環境の変化を踏まえ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが求められている。 市町村においては、子供たちの安全・安心な居場所である「放課後子供教室」や、土曜日に社会人や企業の参画を得て、子供たちの活動を支援する「土曜日の教育支援」、学習が遅れがちな中学生等を支援する「中学生学力アップ教室」を実施する。 県は推進委員会及び指導者研修を実施するとともに、市町村が実施する事業の支援を行う。 ア 放課後子供教室推進事業 208,497千円 イ 中学生学力アップ教室 18,839千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 放課後子供教室推進事業 208,497千円 イ 中学生学力アップ教室 18,839千円 (2) 事業計画 ア 放課後子供教室推進事業 ア) 推進委員会の設置 保護者や地域の代表者、市町村関係者等で構成する推進委員会を設置し、実施方針の検討、指導者研修の企画等を行う。また、市町村の取組を集めた事業報告書を作成し、事業の一層の充実を図る。 イ) 指導者研修の実施 コーディネーター等の資質向上や情報交換・情報共有を図るための研修を実施し、事業の推進を図る。 ウ) 市町村実施事業補助 放課後子供教室、土曜日の教育支援を実施する市町村に対し補助金を交付する。 イ 中学生学力アップ教室 中学生学力アップ教室を実施する市町村に対し補助金を交付する。 (3) 事業効果(実施市町村数・対象学校数) ア 放課後子供教室推進事業 ア) 放課後子供教室 令和4年度: 48市町村375校⇒令和5年度: 49市町村380校(予定) イ) 土曜日の教育支援 令和4年度: 10市町 169校⇒令和5年度: 11市町 186校(予定) イ 中学生学力アップ教室 令和4年度: 12市町 59校⇒令和5年度: 13市町 63校(予定)						
2 事業主体及び負担区分 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金 ア 県実施事業 (国1/3・県2/3) イ 市町村実施事業補助 (国1/3・県1/3)市1/3										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)社会福祉費 (細目)児童福祉費 (細節)児童福祉共通費 (積算内容)放課後子どもプラン推進事業費補助(1/2)										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.3人=12,350千円										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金								
決定額	227,336	113,594						113,742	△10,504	
前年額	237,840	118,846						118,994		

事業内訳書

事業名	放課後子供教室推進事業		
単位事業名	放課後子供教室推進事業	予算額	208,497千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	254	0	推進委員会謝金 9,000円×3人×2回 研修会謝金 50,000円×4回
使用料及び賃借料	180	0	研修会会場代 30,000円×4回 実践発表会会場代 15,000円×4地区
負担金、補助及び交付金	208,063	△11,088	市町村補助金 放課後子供教室 49市町村分 市町村補助金 土曜日の教育支援 11市町分
合計	208,497	△11,088	

単位事業名	中学生学力アップ教室	予算額	18,839千円
-------	------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	18,839	584	市町村補助金 中学生学力アップ教室 13市町分
合計	18,839	584	